

第142回月例セミナー 【ダイジェスト】

「新しい日本の社会保障」

ー 地域からの日本再生 ー

～コミュニティ復活の社会保障改革～

前厚生労働省政策統括官 塩田 幸雄

少子高齢化が進む中、一昨年は国民生活を支える年金制度、昨年は介護保険制度、そして今年には医療制度と、年金・介護・医療一連の大改革が行われ、将来にわたって持続可能な社会保障制度の構築が目指されています。また、人口減少社会においては、少子化を改善し、人口減少に耐えうる会社をつくるため、地方分権・復権改革、男女共同参画社会改革などを一体的に行う必要があります、これらについてもさまざまな取り組みがなされているところです。

今回は、前厚生労働省政策統括官の塩田氏に、新しい日本の社会保障改革は、経済や財政などの関わりでだけでなく、「人」の力を生かし、「地域」の力を高めるものでなければならず、地域の絆を取り戻すことにより、「地域」から本当の日本再生を始めることができるということを結論に、多岐にわたるお話いただきました。

今回の内容

1. 人口減少社会の到来
2. 年金・介護・医療改革等の意義
3. 人口減少時代の社会保障改革
4. 国から地方へ分権・復権改革
5. 社会保障改革などの進み方
6. 「自立と共生」の地域社会づくり